令和7年度 第2回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和7年5月16日（金）午後1時30分～午後4時45分

会 場 下野市役所3階 教育委員会室

出席委員 教 育 長 石崎 雅也 職務代理者 永山 伸一
委 員 佐間田 香 委 員 川田 玲子
委 員 青木 正徳

出席職員 教育次長 米井 正和
教育総務課長 古橋 栄一
学校教育課長 稲見 雄太
生涯学習文化課長 野口 修一
文化財課長 伊藤 隆行
スポーツ振興課長 根本 宣明
教育総務課課長補佐 厚木 充
学校教育課課長補佐 土田 礼巳
教育総務課主査 竹内 夏実

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍 聴 者 1 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和7年6月20日

教育長の報告

- 報告第 3号 下野市教育委員会後援名義等の使用及び下野市教育委員会
教育長賞の交付の承認の決定状況について
- 報告第 4号 令和6年度通学路整備要望と対応結果について
- 報告第 5号 令和7年度就学援助費認定状況について
- 報告第 6号 令和6年度学校教育サポートセンターの事業報告について

議 事

- 議案第 4号 令和7年度下野市教育委員会点検評価外部評価委員会
委員の委嘱について
- 議案第 5号 下野市立国分寺学校給食センター運営委員会委員の
委嘱について
- 議案第 6号 下野市教育支援委員会委員の委嘱について
- 議案第 7号 下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について

- 議案第 8号 下野市学校給食食物アレルギー対応委員会委員の委嘱
又は任命について
- 議案第 9号 下野市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
- 議案第10号 下野市学校教育サポートセンター運営要綱の
一部改正について
- 議案第11号 下野市教育支援センター運営要綱の一部改正について
- 議案第12号 下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について
- 議案第13号 下野市立小中学校教科用図書選定委員会への諮問について

協 議

- 協議第 3号 下野市学校教育サポートセンター設置条例の制定について
- 協議第 4号 下野市地域福祉計画推進委員会委員の推薦について
- 協議第 5号 下野市食育・地産地消推進協議会委員の推薦について
- 協議第 6号 社会福祉法人下野市社会福祉協議会理事の推薦について

そ の 他

1. 開会

(石崎教育長) ただいまから、令和7年度第2回下野市教育委員会定例会を開会する。

2. 教育長あいさつ

(石崎教育長) 4月17日から本日5月16日までの職務について資料に基づき報告する。

報告内容について、質疑等はあるか。

(永山委員) 国分寺東小学校の読書活動優秀実践校について、具体的などのようなところが評価されたのか、選考基準について伺う。

(土田学校教育課課長補佐) 国分寺東小学校の受賞理由について、1点目は地域との連携が評価されている。図書支援員が常勤ではないため、図書室を毎日開放できない旨を話したところ、地域の方による図書室見守りボランティアが組織された。また、読み聞かせボランティアとの連携が評価された。2点目は、国語の授業における図書室利用状況が評価された。図書支援員が授業に入り授業の支援を行ったことが評価され、受賞に至った。

(永山委員) マスコミへの情報提供についてはどうか。

(土田学校教育課課長補佐) 下野新聞の方で県内で受賞した学校の特集を組む予定があり、その流れで下野新聞から取材依頼があった。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)

3. 議事録署名人の選任 永山委員及び佐間田委員を指名

4. 前回議事録の承認

- (石崎教育長) 前回議事録について、事務局に説明を求める。
(厚木教育総務課課長補佐) 令和7年度第1回教育委員会定例会議事録の修正箇所について報告を行う。
- (石崎教育長) 意見等はあるか。(特になし)
議事録はこのとおり決定とする。

5. 教育長の報告

- (石崎教育長) 報告第3号、下野市教育委員会後援名義等の使用及び下野市教育委員会教育長賞の交付の承認の決定状況について、説明を求める。
(古橋教育総務課長) 令和7年5月現在、2件の後援申請を承認した旨、説明を行う。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
続いて、報告第4号、令和6年度通学路整備要望と対応結果について、説明を求める。
(古橋教育総務課長) 資料に基づき、令和6年度通学路整備要望と対応結果について説明を行う。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。
課題がある、長期計画になる、協議が必要なため保留のものについては、前向きに善処するということでよいか。
(古橋教育総務課長) ご指摘のとおり。引き続き継続しながら対処する。
(石崎教育長) 保留のものが、最終的に不可になることはあるのか。
(古橋教育総務課長) 例えば、信号機の設置となると、年間でも県内において数件という頻度のため、設置されるまで要望は継続される。法的な根拠によりできないものは不可となる。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
続いて、報告第5号、令和7年度就学援助費認定状況について、説明を求める。
(稲見学校教育課長) 資料に基づき、令和7年度就学援助費認定状況について説明する。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。
年度途中でも要保護・準要保護に認定される児童生徒はいるのか。
(稲見学校教育課長) ご指摘のとおり。
(石崎教育長) 要保護及び準要保護児童生徒数比較表と、過去5年間の推移の数にずれが生じている。これは、基準日が令和6年度末時点と令和7年5月1日でずれていることが関係しているのではないか。基準日を合わせることでよくなるのではないかと思うので、確認をお願いしたい。

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、報告第6号、令和6年度学校教育サポートセンターの事業報告について、説明を求める。

(稲見学校教育課長)

資料に基づき、令和6年度学校教育サポートセンター事業報告について説明する。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(佐間田委員)

1点目は、発達の相談と不登校の相談が被っている方は、全体の何パーセントくらいか。2点目は、発達の相談が増えているが、保健師は足りているのか。また、スクールソーシャルワーカーは入っているのか。3点目は、緑小は全体の人数に対して相談が多い。先生の対応として、学校の授業は大丈夫なのか。

(稲見学校教育課長)

割合は後程確認して報告する。保健師については、足りていないと感じる。教育相談員として勤務している方は学校に勤めていた方が多い。横の連携をとっていただきながら、相談業務にあたっている。スクールソーシャルワーカーについては、2つの中学校区に1名配置している。石橋中学区と南河内第二中学区で1名、国分寺中学区と南河内小中学区で1名。下野市に2名県から配置されている。学校数が多いところだと、なかなか勤務できない状況である。発達に特性のあるこどもの指導で大変という話は聞いている。学校と指導主事と連絡を取りながら観察を行い、サポートセンターの職員も支援しているが、学校の規模が小さくなっている分教員の数も減少しているため、対応に苦慮している。

(川田委員)

スマイル登校と在籍校登校の両方登校とは、午前は在籍校に行き、午後にスマイル教室に行くということか。

(稲見学校教育課長)

時間帯は関係なく、1日の中でスマイル教室にも在籍校にも顔を出して、先生と関わることができた日は、両方登校としている。

(川田委員)

両方登校のときは保護者が送迎しているのか。

(稲見学校教育課長)

場所による。石橋中の生徒だと、自転車でスマイル教室にも学校にも行き来できるので、こどもによって移動手段は違うと思う。

(石崎教育長)

緑小は相談総数が多い学校であがっている。規模の大きな学校の相談数が多い傾向があるというが、緑小は規模が大きいとは言えない。緑小と細谷小は、相談ケース数と比べて相談総数が多い。これは、1件につき何回も相談があるということである。

6. 議事

(石崎教育長)

ここで諮る。議案第4号から議案第9号については、人事に関する案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する

法律第14条第7項の規定により、非公開として進めたいと思うが、よろしいか。（全委員承認）

それでは、議案第4号から議案第9号については非公開として進める。

まず、議案第4号、令和7年度下野市教育委員会点検評価外部評価委員会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

（石崎教育長）

議案第4号を決定してよろしいか。（全委員承認）

議案第4号は原案のとおり決定する。

続いて、議案第5号、下野市立国分寺学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

（石崎教育長）

議案第5号を決定してよろしいか。（全委員承認）

議案第5号は原案のとおり決定する。

続いて、議案第6号、下野市教育支援委員会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

（石崎教育長）

議案第6号を決定してよろしいか。（全委員承認）

議案第6号は原案のとおり決定する。

続いて、議案第7号、下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

（石崎教育長）

議案第7号を決定してよろしいか。（全委員承認）

議案第7号は原案のとおり決定する。

続いて、議案第8号、下野市学校給食食物アレルギー対応委員会委員の委嘱又は任命について、説明を求める。

以下、非公開

（石崎教育長）

議案第8号を決定してよろしいか。（全委員承認）

議案第8号は原案のとおり決定する。

続いて、議案第9号、下野市スポーツ推進審議会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長)

議案第9号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第9号は原案のとおり決定する。

ここで、非公開を解く。

(永山委員)

全体を通しての質問で、公募委員を置くことについては、条例からだ読み取りにくい、ほかに規程や全体的なルール、基準はあるのか。

(厚木教育総務課課長補佐)

条例とは別に、審議会についての規則を定めている。審議会委員のうち、一定割合で公募委員を置くといった決まりを定めている。

(石崎教育長)

ここで諮る。円滑な会議の進行のため、関連する議案である議案10号及び第11号及び協議第3号を一括して審議すること並びに当該議案の順番を入れ替え審議することとしてよろしいか。(全委員異議なし)

それでは、議案第10号、下野市学校教育サポートセンター運営要綱の一部改正について、及び議案第11号、下野市教育支援センター運営要綱の一部改正について、及び協議第3号、下野市学校教育サポートセンター設置条例の制定について、説明を求める。

(稲見学校教育課長)

資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(永山委員)

教育支援サポートセンター運営要綱の一部改正は、サポートセンターの場所を変えるため改正するということか。名称はどうなるのか。

(稲見学校教育課長)

ご指摘のとおり。名称は変わらない。

(永山委員)

下野市教育支援センターになるのではないのか。

(稲見学校教育課長)

下野市学校教育サポートセンターという建物の中に下野市教育支援センターのスマイル教室が存在している。

(佐間田委員)

サポートセンターの中に何があるのか。

(稲見学校教育課長)

サポートセンターは、教育支援センターの運営に際し、必要な指導、助言、援助を行う部分がある。

(永山委員)

サポートセンターが一番大本のものとしてある。サポートセンターの事業としては、学校に対して指導または助言を行う、必要に応じて職員を派遣する、支援センターの運営に際し、必要な指導、助言をするということ。サポートセンターは教育研究所のように人が集まった組織と考えればよいか。人が集まった主体をサポートセンターと呼ぶ。支援センターは場所のこと。例えば医療法人は、医療の研究、発展のために医療法人を作る。実際に何をやるかということ、診療所を作って診療行為をする、

というように決める。それと似たようなものか。いくつかのデパートメントに分かれていて、サポートセンターの中の一部門が相談員の派遣事業、支援センターといわれる箱の中にあるスマイル教室の運営事業とみればよいか。

(稲見学校教育課長)

ご指摘のとおり。

(石崎教育長)

教育支援センターの他に何かがあるか、という佐間田委員の質問について、教育支援センタースマイル教室とは別に、相談部が設けられている。

(青木委員)

相談部は保護者や教師が対象である。教育支援センターは子どもを対象にしている。子どもが支援センターに来ることもあるため、相談部の職員が支援センターに関わることもあるというイメージを持っている。ただ、基本的に支援センターの指導は相談部の人はしないと記憶している。

(永山委員)

サポートセンターと支援センター、サポートと支援で英語と日本語で分けているので、わかりにくいと思う。もう少し言葉をわかりやすくした方がよい。

(青木委員)

教育支援センターという言い方をしなければいけない。下野市だけではなくて、他の市町でも支援センターという名前になった。

(石崎教育長)

他に質疑はあるか。

(青木委員)

教育支援センターの場所を移動するというので、引っ越し後正式に子どもたちが活動を開始するのはいつか。

(稲見学校教育課長)

開所式を6月20日金曜日の10時から開催予定である。教育委員にも案内状を送付予定である。20日が金曜日のため、翌週月曜日から新しい施設で相談部、スマイル教室が動き出す準備をしている。

(永山委員)

条例を作らなければいけないという要請を受けている法令等はあるか。

(稲見学校教育課長)

条例については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき制定している。

(永山委員)

第30条はどんな文言か。

(厚木教育総務課課長補佐)

第30条を読み上げる。「地方公共団体は、法律で定めるところにより、学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関を設置するほか、条例で、教育に関する専門的、技術的事項の研究又は教育関係職員の研修、保健若しくは福利厚生に関する施設その他の必要な教育機関を設置することができる。」

(永山委員)

サポートセンターを設置しなくてはならないということについて、文科省からの通達はないのか。通達では、どのように言っているか。今回でいうと、スマイル教室のような末端の組織は愛称を使ってもよいと思う。しかし、一番基本的な背骨になる部分に関しては、なるべく法律や通達の言葉をそのまま使っ

た方がわかりやすい。サポートセンターという言葉を使っているのか。これは今まで下野市でサポートセンターということを使っていた言葉をそのまま踏襲していると思う。

(石崎教育長)

全国一斉で施設を設置している。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条は一般的な博物館や図書館も含めて設置することができるという文言である。その中に含まれるのは分かるが、具体的に不登校児を対象に施設を設置するように文科省からの通達が出ていて、その中で名称が載っているのではないか。

(永山委員)

このままでも構造としては理解した。

(石崎教育長)

理想論でいうなら、相談部も含めて教育支援センターなのではないか。

(米井教育次長)

他の自治体はそのようになっている。下野市の場合は、学校教育サポートセンターが先にできた、という経緯がある。そのあとに、努力義務として教育支援センターを設置するよう通達が来たため、分かりにくくなっている。サポートセンターの中で事業分けをしていく、支援センターの中の下で事業分けをしていくという方が分かりやすいかもしれない。

(永山委員)

支援センターの条例にして、その中に相談事業とスマイル教室の運営事業を分けて書くと分かりやすいかもしれない。ただ、条例としては機能すると思う。条例を見たときに、市民がわかるかどうか。

(石崎教育長)

将来的には名称の変更も検討してほしい。

他に質疑等はあるか。(特になし)

議案第10号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第10号は原案のとおり決定する。

続いて、議案第11号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第11号は原案のとおり決定する。

続いて、協議第3号は原案のとおりでよろしいか。(全委員承認)

続いて、議案第12号、下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について、説明を求める。

(伊藤文化財課長)

資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

議案第12号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第12号は原案のとおり決定する。

続いて、議案第13号、下野市立小中学校教科用図書選定委員会への諮問について、説明を求める。

(稲見学校教育課長)

資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

議案第13号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第13号は原案のとおり決定する。
続いて、協議に移る。

7. 協議

(石崎教育長) 協議第4号、下野市地域福祉計画推進委員会委員の推薦について、説明を求める。

(古橋教育総務課長) 資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長) 川田委員にお願いしてよろしいか。

(川田委員) 承知した。

(石崎教育長) 委員の皆様よろしいか。(全委員承認)

下野市地域福祉計画推進委員会委員に、川田委員を教育委員会から推薦することで決定した。

続いて、協議第5号、下野市食育・地産地消推進協議会委員の推薦について、説明を求める。

(古橋教育総務課長) 資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長) 川田委員にお願いしてよろしいか。

(川田委員) 承知した。

(石崎教育長) 委員の皆様よろしいか。(全委員承認)

下野市食育・地産地消推進協議会委員に、川田委員を教育委員会から推薦することで決定した。

続いて、協議第6号、社会福祉法人下野市社会福祉協議会理事の推薦について、説明を求める。

(古橋教育総務課長) 資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長) これは下野市社会福祉協議会定款施行細則第3条(1)理事のどれに該当するのか。

(厚木教育総務課課長補佐) 施行細則第3条の中に理事をお願いしたい役職について定めている。その中の教育関係団体から1人ということで、教育委員の方から依頼されている。

(石崎教育長) 佐間田委員にお願いしてよろしいか。

(佐間田委員) 承知した。

(石崎教育長) 委員の皆様よろしいか。(全委員承認)

下野市食育・地産地消推進協議会委員に、佐間田委員を委員会から推薦することで決定した。

続いて、その他に移る。

8. その他

(永山委員) 学校の安全対策について伺いたい。また、学校のホームページを見てみると、校長先生の顔写真が載っている学校がない。地域に開かれた学校ということになれば、学校の責任者として顔とこんな方針でこの学校を率いているという挨拶はあってしかるべきと思う。ホームページを見ると、組織図や沿革などし

かなくて、どうなのかと思っている。学校の長たる覚悟として、顔写真と挨拶は載せるべきだと思うがいかがか。

(稲見学校教育課長)

学校の安全対策については、国や県から3段階の安全確保をするよう言われている。1つ目として門扉、2つ目として門から昇降口や正面玄関という校舎への入口までのところ、最後の昇降口、来客用玄関などの施錠をしっかりと話す話がある。各学校において、門扉については子どもたちが登校した後、基本的に閉めるようにしているが、門扉自体に鍵はかかっている。給食関係や遅刻者、早退者の保護者の送迎も踏まえて、施錠はしていない。門扉から玄関、昇降口までの動線については、各学校に1台は必ず防犯カメラが設置されているので、見えるようになっている。最後の昇降口、玄関等については、確実に施錠するよう指示はしていないが、基本的にはドアは閉めた状態に対応するよう安全確保を行っている。また、各学校で避難訓練を行っており、避難訓練の種類として不審者対応というものに関して、ほとんどの学校は毎年、学校によっては隔年で実施している。

(永山委員)

以前の報告で、学校によっては職員が声かけをしていると聞いており、そういう良いところを学校間で情報共有してほしい、と伝えたと思うが、昨今いろいろあるので、引き続き緊張感をもって対応していただきたい。

(石崎教育長)

本市独自の取り組みとして、全校に防犯カメラを設置して対応している。門扉については、専門家の話だと心理的な抑圧効果もあるので、鍵をかけなくてもよいのできちんと閉める。防犯カメラはダミーでも良いので設置すると心理的な効果がある。新しい動きとして、ピストルタイプのロケットランチャーを学校に設置した自治体がある、という話が出た。

(永山委員)

欧米では、ガードマンがいる。日本は先生方が本当に大変だと思う。ただ、限られた中でも今いる子どもたちを守らなければいけないので、声かけなど、できるところは情報共有していただきたい。

(佐間田委員)

事件の後に学校に確認はしたのか。

(稲見学校教育課長)

事件の直後に先ほどお伝えした内容を徹底するようお知らせした。

(佐間田委員)

それは、児童生徒がいる時間のみか。放課後はいかがか。

(稲見学校教育課長)

放課後になると、門は開いていることが多くなってしまおうと思う。小学校では、昇降口は子どもが出た後は施錠する。放課後の活動になると、施錠については難しいと思うが、そういうときこそ外部の方に対して声かけをすることが大切だと思う。

(石崎教育長)

学校は地域で守る。不審者が来た場合に防ぐことは難しい。被害を少なくするために、地域のあちこちから見られたり、声

をかけられると不審者は犯罪を起こす気がなくなる。門扉を開放していても、地域の人が頻繁に出入りしていれば他の人は入らないようになる、というのが理想だと思う。

(永山委員)

ガードマンを雇えない日本の学校で、先生の数は限られているので、防犯を考えると地域の力に頼らざるを得ない。そのためには、地域へのアプローチが少ないと思う。

(石崎教育長)

働き方改革の指針の中に、教員が行うべきもの、原則教員が行うが必ずしもそうでなくてもよいもの、教員が行わないものがある。本来、登下校は学校ではない。そういったものも含めて学校が行うため、逆に地域も遠慮してしまう。任せられるものは任せた方がよい。任された方は責任感を持つし、うれしく思うときもあると思う。それが地域と学校の望ましい形だと思う。

(稲見学校教育課長)

校長の顔写真について、確認はとれたのか。

現状市内の学校では、顔写真を載せている学校はない。

(永山委員)

以前、顔写真を載せた方がよいと伝えたところ、載せた学校が結構あった。お伝えすれば、先生方は分かってくれる。地域と繋がるには、地域の方が校長先生を分かっているといけない。せめて校長先生は半分公人として顔を出していただきたい。

(青木委員)

個人情報保護法ができて、ホームページに載せている学校の個人情報はずべて削除されている。先生方の名前は一切載っていない。ただ、永山委員の意見を聞いて、校長だけは代表なので載せてもよい気はする。

(永山委員)

こどもの写真はホームページに載せている。

(青木委員)

名前を入れないようにしたり、ぼかしたりと努力している学校もあるし、普通に載せている学校もある。学校によって程度が違う。ホームページで顔と名前が一致するような掲載方法はどうかと思う。ホームページの扱いについては、教育委員会としての方針をきちんと伝えた方がばらつきはなくなると思う。

(永山委員)

他が顔写真を載せていないから自分のところも載せない、というのが一番の理由だと思う。なので、以前はお願いして載せてもらっていた。高校も以前は当たり前には載せていたが、今は載せていないところもある。

(青木委員)

保護者に向けてホームページのパスワードを提供しており、情報が難しいものについては、パスワードを持っている人しか見られないようになっていけば、先生方の顔を載せても大丈夫だと思う。一般的に広く市民の方が見る場合は、校長のみ見られるようにしておく。

(永山委員)

医者なども、顔は出している。でないと、頼む人が信用できない。その席につく人の責任だと思う。なので、新任校長は新聞にも顔が出る。どうしても出さなければ、新聞にも出さ

ない方が良いと思う。責任と覚悟という意味で、絶対に必要だ
と思う。個人情報という問題ではない。絶対に出すようには言
えないけれども、気持ちは伝えていただきたい。

(青木委員) 校長会で相談していただきたい。

(石崎教育長) 学校にも考えがあるので、絶対とは言えないが、以前は顔写
真を載せていた時期もあり、学校がよく見えるようになった、
という効果もあったがいかがか、という方向で伝えてほしい。

(永山委員) 組織の代表は顔が必要だと思う。目立ちたくて出しているわ
けではなく、人間の顔認識機能によって親しみを持ってもらう
ために、組織の代表者は顔を出す。

(石崎教育長) 事務局から連絡事項等はあるか。

(古橋教育総務課長) 1点目は古山小学校への学校訪問について、7月2日水曜日
に実施する。当日は出前教育委員会も開催する。2点目は、令
和7年度教育委員会主要日程の一覧について、新たに日程等が
決まったものを追加したので最終版として配付する。スケジュ
ール等の確認をお願いしたい。

(石崎教育長) 他に事務局から連絡事項等はあるか。

(稲見学校教育課長) サポートセンターの開所式について、6月20日金曜日に実
施する。教育委員の皆様にも参列していただきたいため、後日
書面にて案内させていただく。

(石崎教育長) 他に事務局から連絡事項等はあるか。

(厚木教育総務課課長補佐) 1点目は、会議の中で永山委員から質疑があった審議会のル
ールについて、資料を配付した。審議会をする場合、下野市審
議会等の設置及び運営等に関する要綱に基づいて委員を選定し
ている。要綱の第5条第1号から第8号に選考基準を記載して
いる。第1号、委員の人数はおよそ20人を上限とする。第3
号、兼任の制限ということで、同じ方がいくつもの審議会を兼
任しないことが原則になっている。第4号に公募委員の登用に
ついて記載があり、可能な限り総員数の20パーセント以上の
公募委員の登用を目標とする、となっている。第5号は男女の
構成比ということで、男女いずれかが30パーセント未満にな
らないよう配慮されている。第7号では市議会議員は原則審議
委員にはならないこと、第8号では職員についても条例で定め
ない限りは審議会の委員としない、となっている。先ほどの提
出案件にも職員が委員になっているものはあったが、条例で職
員を選出すると定めている。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

(永山委員) 以前、市議会議員は報告を受ける側なので出なくてよいので
は、と伺ったところ、今まで出ていたから、という理由で決定
した。本来は、あまり望ましくないということか。

(厚木教育総務課課長補佐) 永山委員ご指摘のとおり、議員は審査する側ではなく、受け

る立場なので、議員を入れるときは条例に記載する、もしくは議員側から要望があったときは配慮しているのが現状である。

(永山委員)

次に出てくるときには、この辺も配慮いただきたい。

(石崎教育長)

他に事務局から連絡事項等はあるか。

(厚木教育総務課課長補佐)

令和7年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会(長野大会)の詳細な日程が決定した。また、文科省から市町村教育委員会研究協議会の案内が来ている。参加を希望する場合は教育総務課まで連絡いただきたい。

(石崎教育長)

他に事務局から連絡事項等はあるか。

(稲見学校教育課長)

下野市立学校の休業措置について、本日石橋中学校でインフルエンザ患者感染拡大防止のために、給食を食べた後に下校をさせて、明日から19日まで学級閉鎖ということで対応する。

(石崎教育長)

市内の他の学校でインフルエンザは聞いていないか。

(稲見学校教育課長)

今のところ報告は来ていない。

(石崎教育長)

教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。

(佐間田委員)

交通安全カードの説明はその後どうなったか。

(稲見学校教育課長)

夏休みに入るタイミングで、夏休みの指導と合わせて実施しようと考えている。

(川田委員)

1年生だけではなく、1年生から6年生まで全員がわかるように、夏休み前に集会で、劇のようなものを全校の前で実施したら良いのではないか。

(永山委員)

中学生が小学生に劇を行うのはどうか。

(川田委員)

本当は新入生歓迎会の時に実施するのが良いのではと思った。

(永山委員)

中学生にも交通安全カードはあった方が良いと思う。大人だって自分が被害にあったときに対応できる自信のある人は少ないと思う。

(川田委員)

毎年の恒例行事として実施したほうが入っていきやすい。学校がその時間を作るかどうかだと思うが、30分程度でよいので、集会時にやってもらえたらと思う。

(青木委員)

具体的に見せないと、特に小学生は言葉で言っても分からない。

(稲見学校教育課長)

検討する。

(石崎教育長)

他に教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。(特になし)

以上でよろしいか。(全委員承認)

それでは、次回の開催日程について、事務局に説明を求める。

(厚木教育総務課課長補佐)

次回の教育委員会定例会は、令和7年6月20日(金曜日)午後1時30分から、教育委員会室で開催を予定している。

9. 閉会

(石崎教育長)

以上をもって、令和7年度第2回教育委員会定例会を閉会する。

(午後 4 時 4 5 分閉会)

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人